

今秋必ずある総選挙での比例躍進をめざして日本共産党の、もとむら伸子衆院議員（東海比例候補）は、18、19の両日、東三河に入りました。北設楽郡の演説会（記事下）、豊橋駅前での東海ブロックいっせい宣伝と精力的に活動しました。本村氏は、最初に静岡県熱海市の土石流災害被災者救援を訴え、菅政権が強行する東京五輪について「東京の医療はひっ迫している。五輪よりもコロナ対策。医療現場は人が足りない。入院先がなくて救えるはずの命が救えない事態が発生している。命を軽視する異常な菅政権を総選挙で退陣に追い込もう」と呼びかけました。しもおく奈歩前県議、斎藤啓、鈴木みさ子、中西光江の各豊橋市議が参加しました。



東海ブロックいっせい宣伝で共産党への支持を呼びかける（左から）斎藤、しもおく、もとむら、鈴木、中西の各氏 19日朝、豊橋駅前

もとむら伸子 豊橋駅前でいっせい宣伝

衆院議員（比例東海）



日本共産党への支持を呼びかける（左から）しま
づ幸広前衆院議員、加藤敏彦愛西市議＝17日、
愛西市

総選挙勝利へ

東三河で共産党の 風を吹かそう



14 年以上ぶりに開かれた日本共産党演説会。(左から) 浅尾もとこ東栄町議、もとむら伸子衆院議員(東海比例候補)、安間ひろこ衆院愛知 14 区候補・豊川市議＝18 日、東栄町

14 年以上ぶり

東栄町で演説会

もとむら、安間両衆院候補訴え

32分の2倍以上。また20年度188件あった救急件数のうち、ドクターヘリはわずか8件」と告発しました。

北設楽郡東栄町で総選挙勝利をめざす日本共産党演説会がおこなわれました。同町での共産党演説会開催は、14年以上ぶり。町立東栄医療センターの人工透析廃止、無床診療所化、新診療所建設

は、「今年の総選挙は、東三河北部の地域医療を守るための政治戦。入院ベッドの削減や75歳以上の医療費窓口2倍化など許せません。総選挙で菅自公政権を退陣に追い込もう」と呼びかけました。

をめぐる住民運動が町政を大きく動かす中でおこなわれました。

もとむら伸子衆院議員（東海比例候補）は「国会で、へき地の医

浅尾町議は「東栄町内で救急車を呼んでから救急隊が傷病者を病院に収容するまでの平均所要時間は2018年度の1時間7分から、20年度は1時間24分と、さらに伸びています。19年度の県平均

療を確保するための財源確保や法整備に全力をあけてきた。病床削減を推進し、いのちにかかわる政策を軽視する菅政権を存続させてはならない」と述べ、総選挙勝利への決意を述べました。

五輪は今からでも中止を

第8次キャラバンしまづ、長内両氏

総選挙勝利をめざす
日本共産党愛知県委員
会の全県宣伝キャラバ
ン（第8次）は、第7
次までの土・日・休日
を中心にした日程に加
えて平日も宣伝カーを
運行し、「選挙本番並
み」に近づける努力が
おこなわれています。

13日は名古屋市熱
田、南、港、瑞穂の各
区、14日は清須、北名
古屋の両市、16日は大
府、豊明、日進の各市
と東郷町、17日は愛西、
津島の両市、18日は名
古屋市千種の両区に入
りました。

16日は、すやま初美
衆院愛知7区候補、17
日は、しまづ幸広前衆
院議員（東海比例候
補）、18日は長内史子
衆院東海比例候補が弁
士を務めました。

愛西市内で演説し
た、しまづ氏は、「静
岡県熱海市での土石流
災害の犠牲者に哀悼の

意を表するとともに被災者のみなさんにお見舞いを申し上げます。党国会議員団、地方議員とともに被災者の要望を国にも伝え、捜索救援の強化を求めています。

菅政権があくまで固執する東京五輪はいまからでも中止の決断を。コロナ感染を世界に広げることがあってはなりません。国民の命軽視の菅政権は退陣を」と強調しました。